



水道事業会計の財政公表

—水道料金はこう使われています—

市は、安全な水道水の安定供給を図るため、皆さんが納入する水道料金などを財源として、毎年度、水道施設の整備を行っています。
今号では、平成26年度下半期の予算執行状況などについてお知らせします。

問い合わせ 水道グループ (☎055501)

3月31日現在の状況をお知らせします —予算執行状況—

	科目	予算額	執行額			
			上半期	下半期	計	執行率
収入	水道料金	9億1,546万円	4億5,001万円	4億4,879万円	8億9,880万円	98.2%
	受託工事収益	2,205万円	1,069万円	984万円	2,053万円	93.1%
	その他営業収益	1,968万円	1,060万円	902万円	1,962万円	99.7%
	営業外収益	3,781万円	3万円	3,403万円	3,406万円	90.1%
	特別利益	0円	0円	35万円	35万円	17650.0%
	計	9億9,500万円	4億7,133万円	5億203万円	9億7,336万円	97.8%
支出	委託費	1億8,314万円	8,084万円	9,383万円	1億7,467万円	95.4%
	人件費	1億3,004万円	5,725万円	6,886万円	1億2,611万円	97.0%
	支払利息	9,739万円	4,896万円	4,744万円	9,640万円	99.0%
	減価償却費	3億2,800万円	0円	3億2,467万円	3億2,467万円	99.0%
	資産減耗費	2,989万円	0円	1,675万円	1,675万円	56.0%
	維持管理費等	1億5,434万円	4,744万円	8,705万円	1億3,449万円	87.1%
	計	9億2,280万円	2億3,449万円	6億3,860万円	8億7,309万円	94.6%

[収益的収支] ※1

収入は、水道料金収入が主で、執行率は97.8%となっています。一方、支出は、浄水場や配水管の維持管理費などにより執行率は94.6%となっています。



▲市の水源の1つである来馬川

※1 収益的収支とは？

年度内に発生すると見込まれる全ての収益とそれに対応する全ての費用のこと

[資本的収支] ※2

収入は、予算の大部分が借入金などで、執行率は66.7%となっています。一方、支出は、配水管の整備事業や水道メーターの購入、借入金の償還などにより執行率は87.7%となっています。

なお、登別温泉浄水場導水管災害復旧事業を翌年度に繰り越したことにより、執行率が例年よりも低くなっています。

※2 資本的収支とは？

施設の整備や企業債の償還元金などの支出、これに要する資金としての企業債収入などのこと

	科目	予算額	執行額			
			上半期	下半期	計	執行率
収入	企業債	1億5,150万円	0円	1億1,150万円	1億1,150万円	73.6%
	工事負担金	455万円	89万円	946万円	1,035万円	227.4%
	国庫補助金	2,890万円	0円	146万円	146万円	5.0%
	計	1億8,495万円	89万円	1億2,242万円	1億2,331万円	66.7%
支出	工事請負費	2億5,484万円	8,248万円	9,965万円	1億8,213万円	71.5%
	企業債償還金	2億6,424万円	1億3,139万円	1億3,285万円	2億6,424万円	100.0%
	人件費	3,205万円	1,377万円	1,772万円	3,149万円	98.3%
	量水器購入費	5,473万円	5,030万円	165万円	5,195万円	94.9%
	修繕費	816万円	287万円	497万円	784万円	96.1%
	委託費	4,476万円	891万円	3,537万円	4,428万円	98.9%
	その他経費	744万円	92万円	119万円	211万円	28.4%
	計	6億6,622万円	2億9,064万円	2億9,340万円	5億8,404万円	87.7%